

やまがた紅王本格デビュー ～果樹王国やまがたのさらなる飛躍へ～

令和5年新年号では、吉村知事とJA山形中央会の折原敬一代表理事会長、本県出身の歌舞伎俳優の中村橋吾さんに誌面对談の形式で語っていただきました。



歌舞伎俳優
中村橋吾さん

1979年生まれ。鶴岡市出身。2000年国立劇場第15期歌舞伎俳優研修修了。2001年4月3代目中村橋之助(現・芝翫)に入門し、歌舞伎座を中心に全国の劇場、海外公演にて活躍中。

山形県知事
吉村美栄子

JA山形中央会
折原敬一 代表理事会長

1953年生まれ。平成29年JAみちのく村山代表理事組合長、令和3年JA山形中央会代表理事組合長、JA全農山形県本部運営委員会会長、JA共済連山形県本部運営委員会会長、JAみちのく村山会長理事。

昨年を振り返って

知事 県民の皆さん、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年、全国的にも新型コロナウイルスの流行や不安定な国際情勢などが心配される中、本県の明るい話題を提供することができました。なんとといっても、6月の「やまがた紅王」のプレデビューです。文翔館と東京の歌舞伎座においてプレス向けイベントを開催し、「やまがた紅王」に対する生産者、関係者、消費者の皆さまの期待の大きさを改めて強く実感したところです。

一方で、8月には、これまでに経験したことのない豪雨に見舞われ、置賜地域を中心に県内各地で甚大な被害が発生しました。私もただちに現地で被害状況を確認し、政府に対して災害復旧事業の推進に向けた緊急要望を行うとともに、地元市町村や関係機関等と連携し、被災された方の生活と経済活動が一刻も早く回復するよう早急な対策を進めてまいりました。

このような中であっても、さく

らんぼやラ・フランスをはじめとした果実や野菜、「つや姫」「雪若丸」などのお米を大変おいしく生産することができたのは、生産者の皆さまのきめ細かな栽培管理などのご努力の賜物です。

「やまがた紅王」の魅力と高まる期待

知事 さくらんぼ県やまがたから昨年プレデビューした「やまがた紅王」は、山形県が20年以上かけて開発しました。「やまがた紅王」は、果実が大きくつやがあり、果肉がしつかりして、とても食べ応えがあります。また、酸味が少なく、上品な甘さを感じられます。さらに、



日持ちも良いので、海外への輸出など、可能性は非常に大きいのではないかと思います。

橋吾 歌舞伎座でのイベント出演の際に、初めて「やまがた紅王」を見たのですが、その果実の大きさに大変驚きました。そして、箱に入った真つ赤な美しい姿は圧巻でした。甘くて、とってもおいしい。役者で申せば、声良し、顔良し、姿良しのまさに「千両役者」です。私も山形の魅力が詰まった「やまがた紅王」にすっかり魅了されました。

折原 「やまがた紅王」は期待の新品种で、平成29年に品種登録され、そして令和元年に吉村知事から、「やまがた紅王」の名称を公表していただきました。昨年のプレデビューに続き、今年は待ちに待った本格デビューを迎えることに大変期待を寄せております。

吉村知事が先頭に立ちブランド化を進めてきた「つや姫」と同じように、「やまがた紅王」が果樹はもちろんのこと、農畜産業全般にわたる振興に寄与できるよう、本県JAグループとしても、県や関係機関と連携して取り組んでいき



たいと思います。

知事 本県のさくらんぼの歴史は、明治8年、旧県庁の敷地内に植栽された3本の苗木から始まり、缶詰加工や、品種改良、栽培技術の確立など、生産・販売・流通の各分野における先人の挑戦の歴史でもあります。「やまがた紅王」は、官民一体となって、時代に合わせ取り組んできた知恵と努力の結晶でもあります。これまでの先人による挑戦の物語「チャレンジ・スピリッツ・ストーリー」も含め、多くの方の心をつかむものと確信しています。